

公益財団法人循環器病研究振興財団

2024(令和6)年度助成研究報告会

第30回循環器疾患看護研究助成

◆ 日 時 ◆

2025年8月30日(土) 14:00~16:00

◆ 会 場 ◆

金蘭会高等学校内
千里金蘭大学梅田キャンパス
講義室

公益財団法人 循環器病研究振興財団

研究発表会の開催にあたって

この度、千里金蘭大学 梅田キャンパス 講義室をお借りして当財団の助成事業であります「循環器疾患看護研究助成」の研究報告会を開催することになりました。

本研究報告会を開催するにあたり多大なご尽力を賜りました千里金蘭大学 学長の福嶋 教偉先生をはじめ、関係各位に心より御礼申し上げます。

2019年12月施行の循環器病対策基本法により循環器病の予防、生活習慣の改善、医療機関では良質かつ適正な医療の提供など循環器病医療が大きく変わり始めています。当財団といたしましても循環器病等に関する啓発及び知識の普及等の施策に協力するよう努めなければならないと思っております。

脳卒中、心筋梗塞などの急性疾患では看護の量的・質的な違いが患者さんの転帰に大きく影響するものであり、最近では多職種の専門家によるチーム医療の大切さが強調されています。

しかしながら、看護領域への公的な研究費は極めて少ないのが現状です。そこで、当財団では、「循環器疾患看護研究助成」を実施することにより、看護師の研究心を高めて頂くとともに、より質の高い看護の提供をして頂くための一助となることを願っております。

いずれの研究課題も全国公募し、専門家で構成される選考委員会において審査基準をクリアした課題に対して、一定額の研究費を助成させて頂いております。

今後もこのような助成を継続的に実施していけるよう鋭意邁進して参る所存ですので、皆さまのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

公益財団法人 循環器病研究振興財団

理事長 峰松 一夫

プログラム

- 座 長：高田 幸千子（国立病院機構 京都医療センター・看護部長）
池田 宏子（社会医療法人 信愛会 交野病院・看護部長）

研究課題 1

家族の代理意思決定でBridge to decisionとなった重症心不全患者に伴う全人的苦痛の様相

- 演 者：小谷 彩乃（国立循環器病研究センター 看護部）

研究課題 2

遺伝学的検査を受け遺伝性結合織疾患の診断が確定した人の体験と支援ニーズ

- 演 者：清水 知子（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻看護実践開発科学講座 招請教員）

研究課題 3

集中治療室から退室した循環器疾患患者の急変前兆候および背景要因の分析

- 演 者：長野 美紀（国立循環器病研究センター 看護部）

研究課題 4

看護学部学生に対する臨床推論に基づいた心不全フィジカルアセスメントの効果

- 演 者：前田 晃史（千里金蘭大学看護学部看護学科 講師）

- 講 演：選考委員長 福嶋 教偉（千里金蘭大学・学長）
『総括：循環器看護に期待すること』

循環器疾患看護研究助成について

- ◆ 循環器疾患看護研究助成は平成6年(1994年)に第1回が行われ、令和7年の今年で第31回の実施となります。
- ◆ 研究助成金は30万円が4件/年となります。
- ◆ 募集等の詳細は毎年12月に財団のホームページにて情報を公開しております。

公益財団法人 循環器病研究振興財団について

- ◆ 当財団は昭和62年10月に厚生大臣(当時)の設立認可を受けて特定公益増進法人として発足し、平成20年12月の新公益法人制度の施行に伴い、平成24年3月19日に内閣府の認定を受けて、同年4月1日付で公益財団法人に移行しました。
- ◆ 循環器病に関する調査研究を実施するとともに、研究の助長奨励及び研究成果その他の知識の普及を促進し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。
- ◆ 主な事業内容は次のとおりです。

1	助成事業	① 公募研究助成 ② 指定研究助成
2	普及支援事業	① 研究成果発表 ② 学術活動支援 ③ 移植医療支援 ④ 予防啓発活動
3	調査研究事業	



公益財団法人 循環器病研究振興財団
〒564-0027 大阪府吹田市朝日町1番301-3
TEL:06-6319-8456 FAX:06-6319-8650
<https://www.jcvrf>